

沖縄県性の多様性尊重宣言（案）に関する意見募集の結果

1. 意見募集期間

令和3年1月29日から令和3年2月26日まで

2. 意見提出の通数及び件数

通数：44通

件数：75件

3. 主な御意見の概要と県の考え方

No.	項目		件数	主な御意見の概要	御意見に対する県の考え方
1	宣言の名称について		5	<ul style="list-style-type: none"> ・「美ら島」の美らについて、沖縄自体を評価するような言葉は使用しない方が良いのでは。 ・宣言の名称について、「尊重」は特別視している意味合いが強いので別の表現が良い。 ・「レインボー」が多様性の象徴であれば「にじいろ」ではなく「レインボー」を使用してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言の名称については、子どもからお年寄りまで、全ての県民に宣言の趣旨が伝わるようにしたいと考えております。 また、「性の多様性を尊重する」ことは、性的マイノリティの方だけでなく、全ての人のセクシュアリティを尊重するというものです。 ・「美ら島」は、沖縄県を表す表現として近年認識されていることから使用しております。 ・レインボーが「多様性」の象徴であるとされているため、子どもからお年寄りまで全ての県民に趣旨が伝わるよう「にじいろ」を使用しております。
2	宣言文案の表現について	4～5行目「人は、みなそれぞれ違う存在であり、自分らしく幸せに生きる権利を持っています。」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・この部分に個々の多様性を尊重し、大切にされるべき存在であることが感じられてとても良い。 ・この部分が、玉城デニー知事の誰ひとり取り残さない社会にあっていると思う。 ・「自分らしく」という表現が、他者に強いられるのではなく、という意味を示しており大切である ・「それぞれ違う存在であり、」を削除しても意味が通るのでは。 	<p>個々の違いを認め合い、互いに尊重しあう共生の社会づくりを目指して、性の多様性の尊重に取り組んでおります。</p>
3		6～7行目「人がどのような性を生きるか、どのような性を愛し、愛さないかなどの性のありようは、人権として尊重されるものです。」	17	<ul style="list-style-type: none"> ・性的指向などの専門用語がなく、より広い意味でみんなが考えられるから良い。 ・「公共の福祉に反しない限り」を追加すべき。 ・「人権」として位置付けていることがとても良い。 ・「人権」について、かみ砕いた意味を記載してほしい。 ・性同一性障害は疾患であって「生き方の問題」ではない。本人が好きでそのような人生を歩んでいると周知されかねない。 	

No.	項目	件数	主な御意見の概要	御意見に対する県の考え方
4	宣言文案の表現について 8～10行目「しかし、多様な性に関する無関心・無理解により、差別や偏見にさらされ、生きづらさを感じたり、ありのままに生きられず、時に、命まで失ってしまう事があります。」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・8行9行に共感する。欠かせない文言だと思う。 ・この問題の深刻さの本質を端的に書き表してとても重要な一文である。 ・末期に死という悲しい事実があるのもこれまで繰り返された事実として無くなっていない。多様な性があるという事実を知り、多角的な理解を得ることから多様性が尊重される。 ・否定的な文書なので削除した方が良い。 ・「命まで失ってしまう」という文言は、自死を考えたり、困難な状況に遭遇している当事者にどんな影響を与えるか考慮しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がなかなか声をあげにくい現状において、この問題の深刻さを理解してもらうために重要な文言であると考えております。相談窓口の設置など、具体的な施策を検討してまいります。
5	11～13行目「性の多様性を尊重するという事は、全ての人の命を大切に、共に生きやすい社会を目指すことです。それはすなわち、私たちが、そして次代を担う子どもたちが、夢や希望を持って健やかに生きられる社会を創ることに繋がります。」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・心より賛同する。特に子どもたちに自由で健やかな社会に生きてもらいたい。 ・以下の文言に修正がよい。 「ごく身近に存在する性の多様性の理解と、多様性を尊重するという事は、全ての人の命の大切さがわかる社会、皆が共に幸せに生きる社会を目指すことです。」 ・夢や希望を持って「自分らしく」を追加 ・社会的に犯罪となるような事まで認めているような宣言では、健やかに生きられるとは反対の社会になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性を理解し尊重できる社会は、性的マイノリティでない方も含む全ての人が自分らしく生きやすい社会であり、命を大切にし共に生きやすい社会を目指すことを県民と共有し、時代を担う子どもたちが希望を持てる社会を共に作って行きたいと考えております。
6	18～22行目「私たち沖縄県民は、 ・自分の性と全ての人の性のありようを尊重します ・性に関する多様な声に耳をかたむけます ・多様な性を理由とする偏見・差別やあらゆる種類の暴力を許しません ・多様な性を理由とする困難を解消するために取り組んでいきます」	24	<ul style="list-style-type: none"> ・「県民」という表記が大切。 ・「沖縄県」も追加してほしい。県民任せにしないで県として取り組むべき。 ・「全ての人の性のありよう」という文言に、小児性愛や痴漢などの性犯罪、不倫なども全て許容されると誤認される。 ・尊重しようとしている個人の権利があまりにも行き過ぎている。 ・「未婚成人男性」、「未婚成人女性」と明確に規定した方が良い。 ・自認する性の施設使用を認めるか、スポーツの性別競技に参加させるかという権利をどこまで認めるのか。 ・19行目は自分も当事者であることが自覚できる良い一文。 ・「あらゆる暴力」という書き方が非常に重要 ・「あらゆる種類の暴力」には、ヘイトスピーチも含まれるか。言葉による暴力、暴言も含まれることを強調してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県も「私たち沖縄県民」に含まれており、今後具体的な施策を取り組んでいきます。 ・性のありようとは、用語の説明に記載している①からだの性、②心の性、③好きになる性、④表現する性の4つの要素の組み合わせにより、多様な性のあり方が存在していることを示しています。専門用語を極力控え、子ども達にも伝わる表現を重視しております。なお、宣言は法令に反しないことを前提としております。 ・「あらゆる種類の暴力」には、言葉による暴力も含まれます。

No.	項目		件数	主な御意見の概要	御意見に対する県の考え方
7	説明資料	4. 用語の説明	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性同一性障害が「トランスジェンダー」でまとめられると困る部分があるので、LGBTと分けて性同一性障害の説明を行ってほしい。 ・ 「からだの性」について、医師が自身の判断で決めていると誤解を招く。身体の特徴だけでなく医学的判断である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性同一性障害については、国際分類においても見直しが図られており、社会的認識が変化していること、また当事者の中にも様々な御意見があることなどを踏まえ、今後、啓発資料の作成や相談窓口の対応などにおいて御意見を反映させていきたいと考えております。 ・ 「からだの性」について、御意見を踏まえて説明資料を修正しました。
8	その他 宣言全般について		9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を理解してほしいと誰もが思っているし、大事にされたいと願っている。それは、まさに自分と違う他人を認め大事に考えることで実現できると思う。 ・ 県を上げて取り組むことは、狭い意味の人権問題だけでなく経済分野など広く地域の活性化につながるものである。 ・ 自身の認識する性が理由で県外に転出した経験があるので、多様性の正しい知識を持った県民が増え、沖縄を「安心して帰れる地元」にして欲しい。 ・ 県として条例の策定など、被害に遭われる方を守る仕組み作りを強く願う。 ・ 差別を禁止する条例とパートナーシップ制度の導入を求める。それらの具体的な条例制定目標期日を示して欲しい。 ・ パートナーシップ制度についても宣言の中に盛り込んで欲しい。 ・ この宣言に反対である。 	<p>性の多様性の尊重に関しては、県民の中にも様々な意見があるものと認識しています。県は、この宣言の周知を図り、県民一人一人の理解を得ていくことを通して、当事者の方々が自分らしく生きられる環境づくりを進めていきつつ、さらなる施策も検討していきたいと考えています。</p>